

次号予告

特集 階層化意思決定法 (AHP)

CAD/CAM機種選定エキスパート・システムとAHP……………加藤直孝(石川県工試)

ロータス1-2-3によるAHPシート……権藤元(近畿大学), 宇佐川雄士(中国電力)

不完全一対比較行列におけるAHPウェイトの計算法……………竹田英二(芦屋大学)

AHP利用上のヒント……………真鍋龍太郎(文教大学)

AHP天津国際会議から外国での研究・応用を覗き見る……………真鍋龍太郎(文教大学), 木下英蔵(神戸市立工業高専)

日本オペレーションズ・リサーチ誌編集委員会

委員長	山田 善靖	東京理科大学
副委員長	日下 泰夫	東京都立商科短期大学
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	稲場日出男	工学院大学
	片山 隆仁	防衛庁
	川野幸三郎	日本ユニカー㈱
	城川 俊一	関東学園大学
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサービズ㈱
	丹羽 清	㈱日立製作所
	平林 隆一	東京理科大学
	町原 文明	日本電信電話㈱
	松本 康男	㈱三和総合研究所
	矢部 博	東京理科大学

編集後記

カーマーカー氏に端を発する新解法の研究もようやく落ちつきをみせはじめてきたようです。勉強嫌いの筆者としては、カーマーカー氏の論文の発表直後に本誌に載った当学会前副会長の刀根先生による解説記事で満足してしまいました。さらに、2年前の特集「線形計画法の最近の発展」を見てフムフムと思ひ、論文をフォローするのは大変なのでパスを決め込んでサボっていました。そこで、「線形計画の新潮流」である「内点法」がその枠組みを超えはじめた現時点で、この新解法の「今後の行く末」を占ってみて、ついでに勉強不足も解消してしまおうという一石二鳥の企画です。そこで、本特集は「内点法」の最前線を紹介しています。内容が少しハードと思われる方には、まず刀根先生の解説記事「カーマーカー法をめぐる」(「数学セミナー」1989年1月号)をお読みくださることをおすすめいたします。

カーマーカー氏は開発した解法に対して米国で特許を

取得されたようですが、現在の「内点法」は数多くの研究者の手によってカーマーカー氏の開発した解法のはるか先を進んでいるのは特集に見られるとおりです。こういった研究を踏まえて開発されたソフトウェアは特許を侵害することになるのでしょうか。もしそうだとすると自由な研究を束縛することにつながらないでしょうか。研究成果が特許になることが決してない者のヒガミを一言。

さて、「内点法」は何もよその国起源のものばかりではないのは今井先生の論文にあるとおりです、伊理先生の開発になる「乗法的罰関数法」も今井先生を中心として、集中的に研究されているのは大変喜ばしいことです。多変数複素関数論の岡潔先生はよく「日本人は日本の情緒にあった数学をやらなければいけない」と言われましたが、これなどはまさにそうでしょうか。

(平林隆一)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成元年3月号 第34巻 第3号 通巻339号

代表者 森村 英典

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-815-3351(代) FAX 03-815-3352 〒113

編集人 山田 善靖

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 850円(郵送料含) 年間予約購読料 9600円(郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337)、日経弘報社(563-2241)へ